

大雪に伴う被害防止対策について

気 象 災 害 対 策
令和 2 年 1 2 月 1 4 日
中央普及支援センター

12月14日に金沢地方気象台から「高波と大雪に関する石川県気象情報第4号」が発表されました。15日から16日頃にかけて山地では警報級の大雪、平地でもまとまった降雪となるおそれがあり、警戒が必要です。

今後、年末年始にかけて、気象台が発表する気象情報や注意報・警報に留意するとともに、次の事項に注意して施設などへの被害防止に努めて下さい。

〔ビニールハウス〕

- (1) ハウスは筋交い、中柱等で補強する。その際、ハウスが降雪後にねじれないように補強は左右対称とする。
- (2) ハウスの隣棟間隔が狭いとき（間口の1/2以下）は、1棟おきにビニールフィルムをはずし、雪の堆積場とする。
- (3) 側壁に堆積した雪を融雪するため、できるだけ高い位置に散水パイプを設置する。散水施設を設置できない場合は、かん水チューブを堆積した雪の上にセットできるように準備する。
- (4) 強風の場合にはハウスの戸締まりを徹底し、ハウス内への吹き込みを防止する。
- (5) フルオープンハウス等でビニールを天パイプ部分に巻き上げ収納してある場合は、強風でビニールが広がらないよう結束を確認する。
- (6) ハウス上の積雪が滑落しない場合は、手作業で強制的に滑落させ、天井に雪を乗せたままにしない。またハウスの側壁に積もった雪は早期に除雪又は融雪する。
- (7) 急激な降雪により積雪が1メートルを超えるような緊急時には、左右対称にビニールを切ってハウスの倒壊を防止する。

〔果樹〕

- (1) 樹体や果樹棚を支柱等で補強する。特に、粗剪定が終了していない園や主枝や亜主枝が長大化している園では、雪の重みによる枝裂けや棚の倒

壊が起きやすいので対策を徹底する。

- (2)冠雪が50cmを越えると被害が出やすいので、降雪量を見ながら着雪の払い落としを行う。

[畜産]

- (1)畜舎等の施設点検を行い、老朽化等により倒壊の恐れがある場合は必要に応じて補強等を行うとともに、屋根の雪下ろしを行う。畜舎の周囲では、飼料運搬車等の車両通行を確保するための除雪に努める。
- (2)停電等緊急時に備え、自家発電機の準備、点検を行う。また、交通の遮断等非常事態に備えて、飼料の在庫確認と購入手当を早めに行い、粗飼料なども含めて給与する飼料が不足、急変しないよう留意する。

なお、雪害に対する被害防止対策については、雪害対策マニュアル（平成30年11月発行(令和2年2月改定)、<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/noken/kisyousaigai/documents/020201.pdf>)を参考にして下さい。

大雪と高波に関する石川県気象情報 第4号

令和2年12月14日05時41分 金沢地方気象台発表

(見出し)

石川県では、16日頃にかけて強い冬型の気圧配置となるため、高波に注意・警戒してください。また、15日から16日頃にかけて山地では大雪に注意・警戒してください。

(本文)

[要因]

日本付近は14日から16日頃にかけて強い冬型の気圧配置となる見込みで、北陸地方の上空約1500メートルには氷点下12度以下の強い寒気が流れ込む見込みです。

[雪の予想]

14日6時から15日6時までに予想される24時間降雪量は、多い所で、

加賀 平地 8センチ

山地 35センチ

能登 平地 10センチ

山地 25センチ

その後、15日6時から16日6時までに予想される24時間降雪量は、多い所で、

加賀 平地 10から20センチ

山地 50から70センチ

能登 平地 10から20センチ

山地 30から50センチ

の見込みです。

また、15日から16日頃にかけて、平地でもまとまった降雪となり、山地では警報級の大雪となるおそれがあります。

[波の予想]

石川県の海上では、17日頃にかけて、しけとなる所があるでしょう。

14日に予想される波の高さは

加賀 4メートル

能登 4メートル

15日に予想される波の高さは

加賀 4メートル

能登 5メートル

の見込みです。

[防災事項]

石川県では、16日頃にかけて高波に注意・警戒してください。また、16日頃にかけては平地でもまとまった降雪となり、山地では警報級の大雪となるおそれがあります。大雪による交通障害、風雪による視程障害、強風、着雪に注意してください。

[特記事項]

今後発表する警報、意報、気象情報等に留意してください。

[情報の発表予定]

次の「大雪と高波に関する石川県気象情報」は、14日17時頃に発表する予定です。